

釧路・根室管内 経済情勢報告

(令和7年1月から3月期)

財務省 釧路財務事務所

URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/kushiro/>

【問い合わせ先】
財務省釧路財務事務所財務課
電話0154(32)0701

【 目 次 】

概 況	・ ・ ・ ・ ・	1
個人消費	・ ・ ・ ・ ・	2
観 光	・ ・ ・ ・ ・	3
雇 用	・ ・ ・ ・ ・	4
生乳生産	・ ・ ・ ・ ・	5
漁 業	・ ・ ・ ・ ・	5
住宅建設	・ ・ ・ ・ ・	6
公共事業	・ ・ ・ ・ ・	6
企業倒産	・ ・ ・ ・ ・	7
金 融	・ ・ ・ ・ ・	7
特 集	・ ・ ・ ・ ・	8

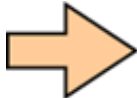
【利用上の注意】

- 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- 本指標は、データ提供先の数値訂正や推計方法の変更等により、過去に遡って訂正する場合がある。

概 況

個人消費は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。観光は回復しつつある。雇用は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

このように、管内経済は、緩やかに持ち直しつつある。

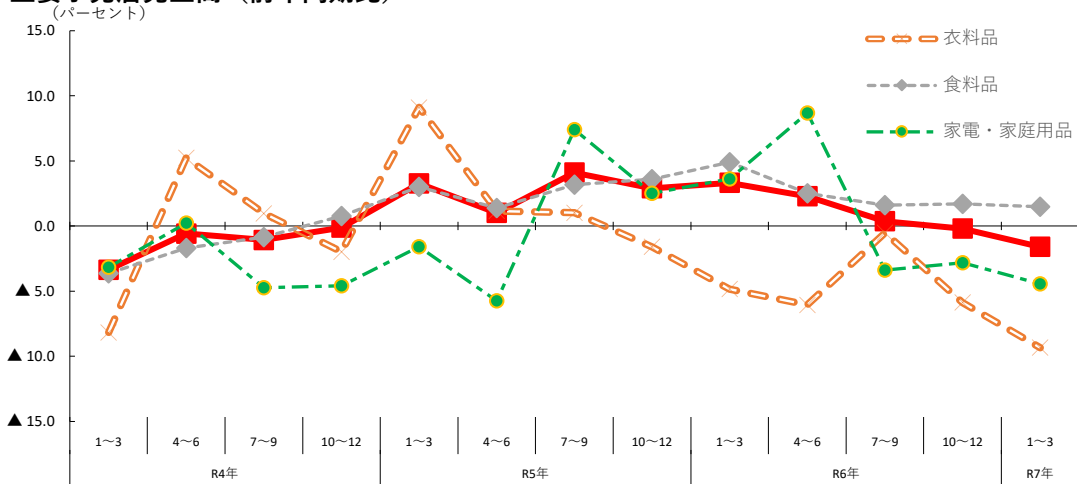
	前回（令和6年10月～12月期）	今回（令和7年1月～3月期）	前回比較	備考
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある		

個人消費	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている		
観 光	緩やかに回復しつつある	回復しつつある		上方修正は、令和6年7月～9月期以来、2期ぶり
雇 用	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている		

生乳生産	前年を上回る	前年を上回る		
漁 業	水揚量は前年を下回ったものの、水揚金額は前年を上回る	水揚量は前年を下回ったものの、水揚金額は前年を上回る		
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る		
公共事業	前年を下回る	前年を下回る		

先行き	先行きについては、雇用・所得環境の改善や、各種政策効果が景気の持ち直しを支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続の影響等も、景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。			
-----	---	--	--	--

主要小売店売上高（前年同期比）



(注) データ提供先に変更あり (R4.1、R5.1、R7.1)

資料：管内主要店舗（全店ベース）

- 主要小売店売上高は、食料品が前年を上回っているものの、衣料品及び家電・家庭用品が前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】

合計▲1.6 衣料品▲9.3 食料品1.5 家電・家庭用品▲4.4

【企業・関係団体の生の声】

- 衣料品は消費者の節約志向の高まりから、低単価商品へのシフトが見られる。特に子供服は着用する期間が短いため安い商品で済まそうという傾向が見られる。
- 時短簡便の需要により、価格は少し高くても総菜の売上は好調。
- 一昨年の猛暑によるエアコン需要が一服し、昨年秋以降は前年対比▲70~80%までエアコンの売上が落ちている。
- 2月、3月の大雪により、客数が大きく落ち込んだ。その分翌日の客数は増えたものの、落ち込んだ分の売上をカバーすることはできなかった。
- 2月は昨年がうるう年であったため、営業日数が減った影響がみられた。

- 乗用車新車登録・届出台数は、前年を下回っている。

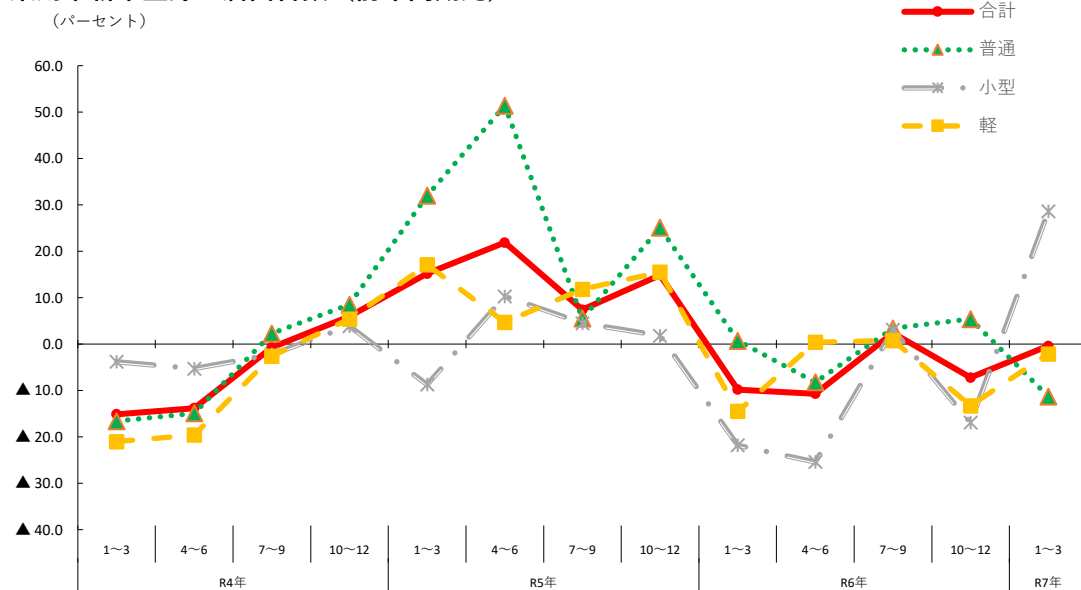
【前年同期比（単位：パーセント）】

合計▲0.4 普通▲11.3 小型28.6 軽▲2.1

【企業・関係団体の生の声】

- 普通乗用車は、前年にレンタカーの全道一括登録があり、今年はその反動で前年を下回っているが、その特殊要因がなければ前年並みになったと思われる。

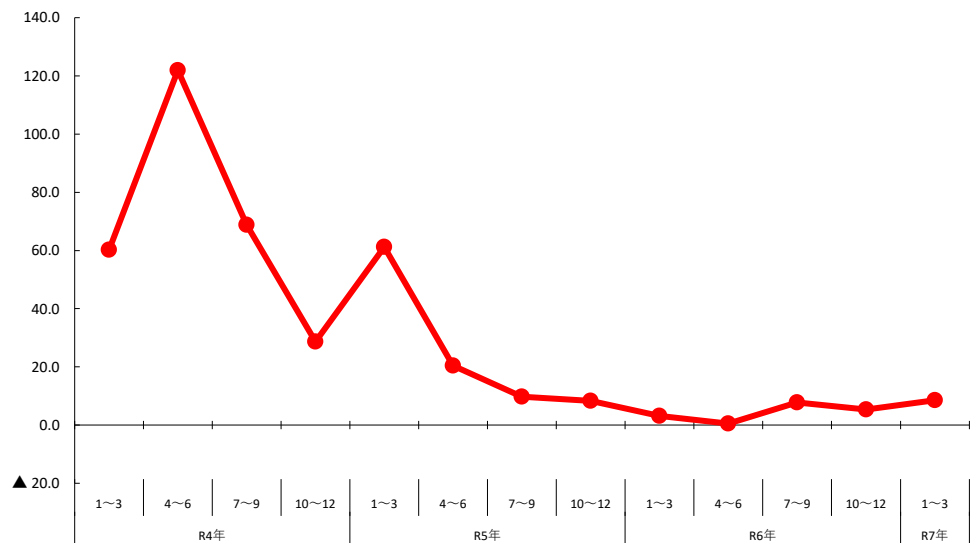
乗用車新車登録・届出台数（前年同期比）



資料：（一社）日本自動車販売協会連合会釧路支部

空港乗降客数（前年同期比）

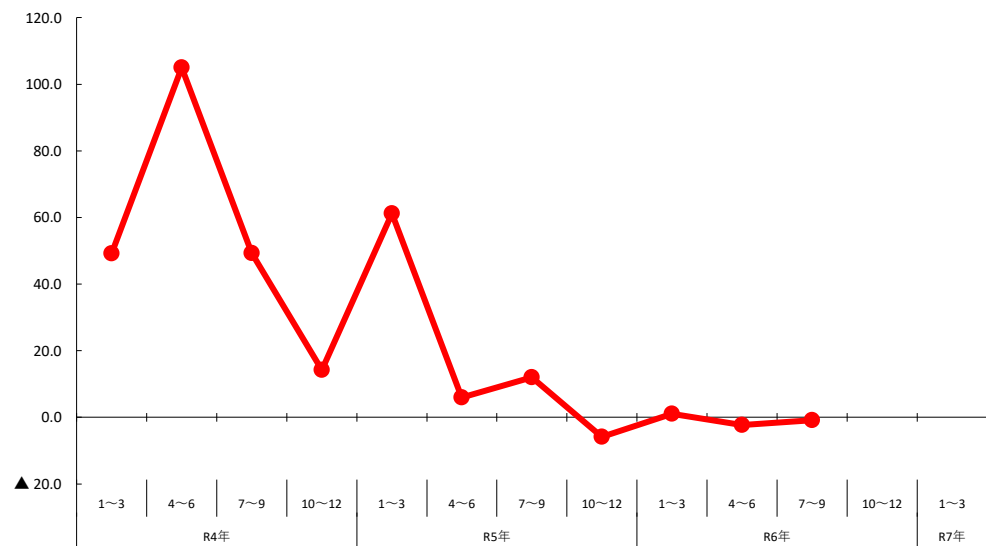
（パーセント）



資料：北海道エアポート(株)釧路空港事業所、中標津町

宿泊客数（前年同期比）

（パーセント）



資料：管内主要施設

- 空港乗降客数は、道外便、道内便ともに前年を上回っている。海外便は運航がなかった。

【前年同期比（単位：パーセント）】

- ・ 空港乗降客数
合計8.5 道外便7.7 道内便12.2 海外便皆減

【企業・関係団体の生の声】

- 国内客については、道外（主に東京周辺）からのツアーや全国高等学校スキー大会等のスポーツ大会の開催により団体客が好調である。
- インバウンドについては、個人客・団体客ともに中国等のアジア圏からの宿泊客が増加している。
- 春節による影響について、1・2月の海外客数が個人客を中心に大幅に増加している。
- 物価高騰の影響を受け、宿泊単価上昇が継続しているものの、宿泊客数や滞在期間への影響は特に見られない。
- 足下の状況について、4月は例年ツアーが落ち着く時期であり、海外客も落ち着いているため1月～3月のような大きな変動はみられず、前年並みとなる見込みである。

※R6.10-12、R7.1-3の宿泊客数は確定していないため非掲載

有効求人倍率



- 有効求人倍率は、有効求職者数が減少しているものの、それを上回って有効求人数が減少していることから、前年を下回っている。
- 新規求人数は、医療・福祉業などの業種で前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

有効求人倍率**1.33倍**

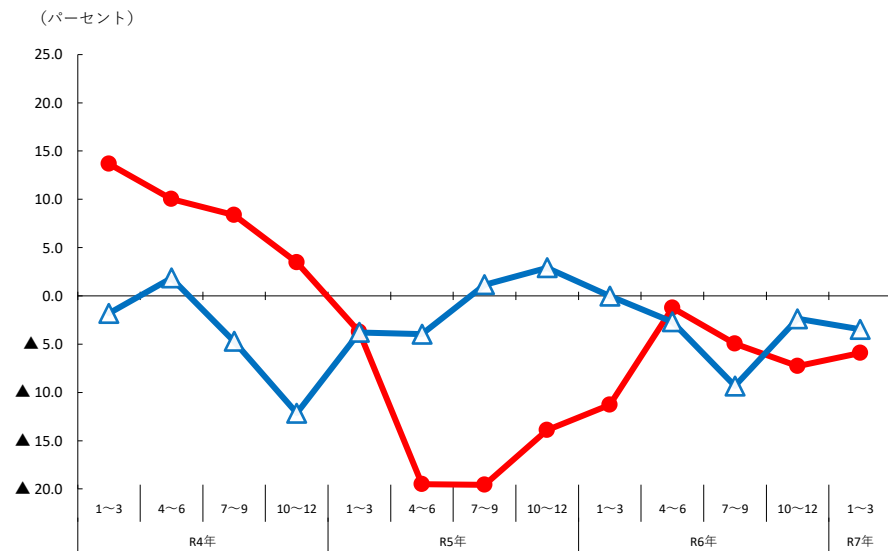
【前年同期比 (単位：パーセント)】

有効求人数▲5.9 有効求職者数▲3.5 新規求人数▲5.6

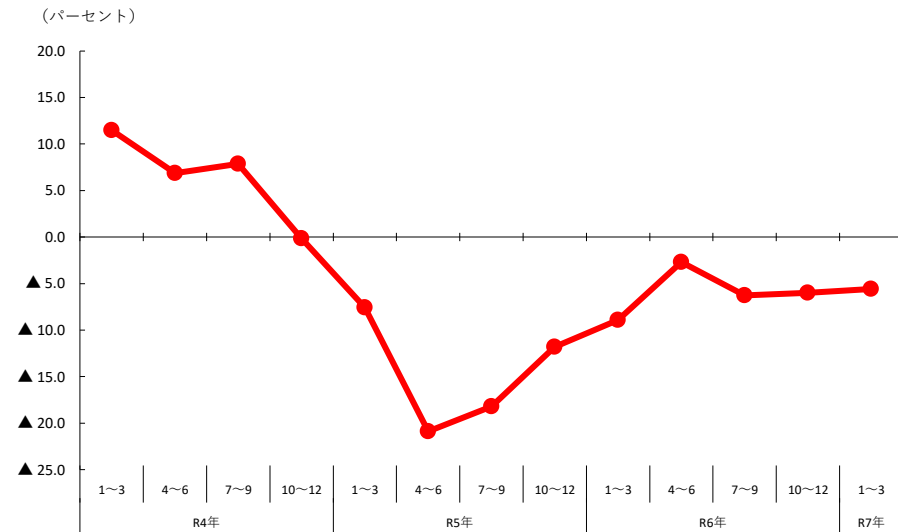
【企業・関係団体の生の声】

- 物価、燃料費等の高騰に加え、金利上昇により借入金に対する利息や、賃上げにより人件費が高くなっており、先行きが見えない状況が続いている。人手不足ではあるものの、今は人を増やさずに現状の人員で対応したいと考えている企業が多い。
- 給与、勤務時間や休日の勤務条件を重視している方が増えている。人手不足の業種では賃上げを行い、勤務時間や休日を柔軟に対応する等、長く勤めてもらうように労働環境の改善が進んでいる。

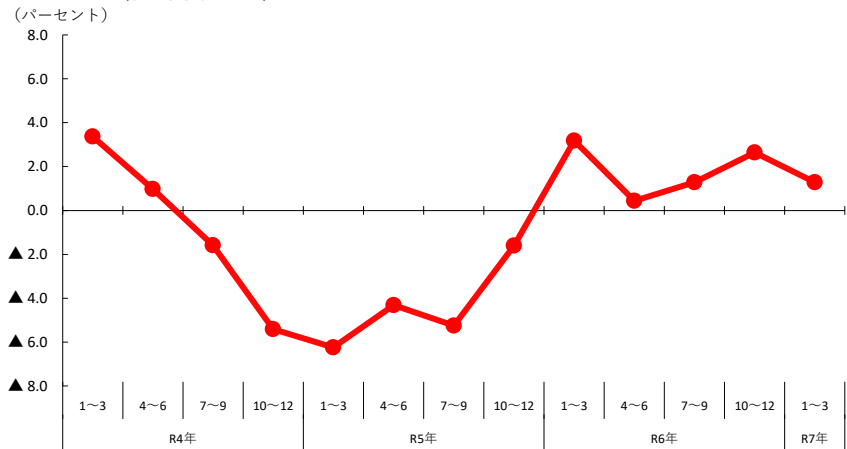
有効求人数・求職者数 (前年同期比)



新規求人数 (前年同期比)



生乳生産量（前年同期比）

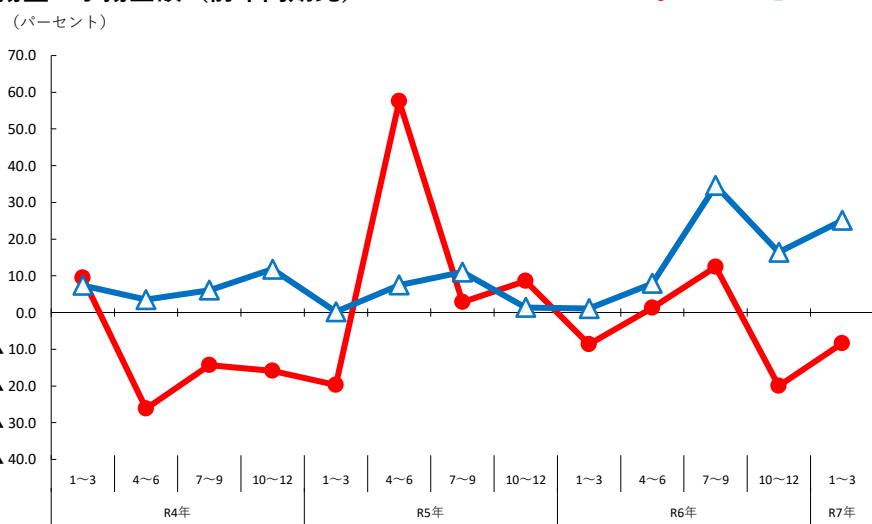


資料：ホクレン釧路、中標津支所

- 生乳生産量は、釧路、根室地域ともに前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 合計1.3 釧路3.0 根室0.2

水揚量・水揚金額（前年同期比）



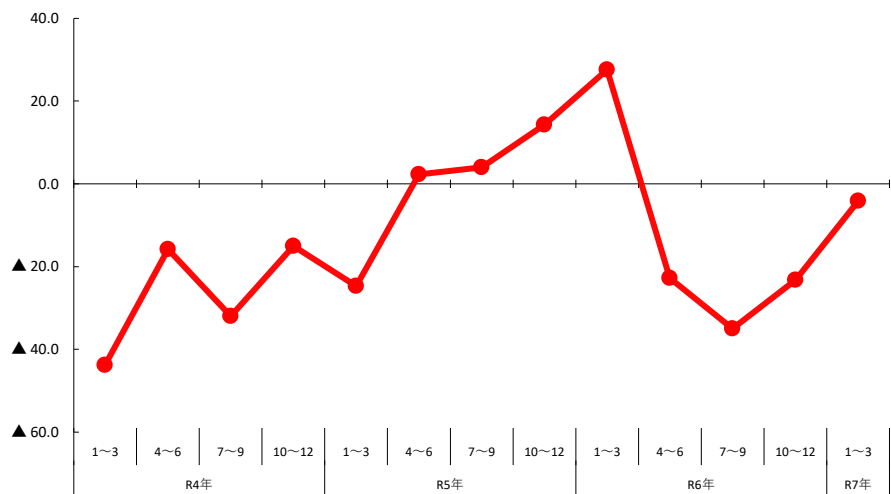
資料：主要6先

- 水揚量は、スケソウダラなどが前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。
- 水揚金額は、貝類などが前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 水揚量▲8.4 水揚金額25.1

住宅着工戸数（前年同期比）

（パーセント）



資料：国土交通省

- 住宅着工戸数は、持家、分譲住宅、給与住宅が前年を上回っているものの、貸家が前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】

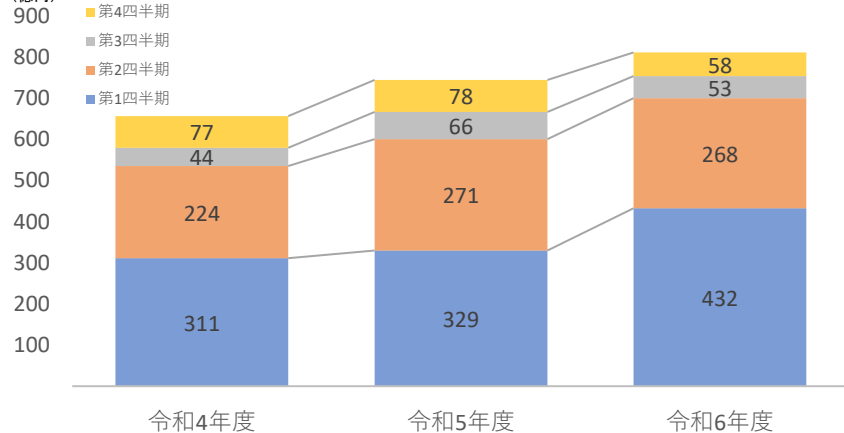
合計▲4.1 持家9.8 貸家▲35.7 分譲住宅40.0 給与住宅皆増

【企業・関係団体の生の声】

- 持家の受注については、価格上昇が影響し、非常に厳しい状況が続いている。
- リフォーム相談会を実施したところ、来場者が多く、受注に結び付いている。省エネリフォームに対する補助金をきっかけにリフォームを行う方が多い。

前払金保証請負金額

（億円）



資料：北海道建設業信用保証㈱

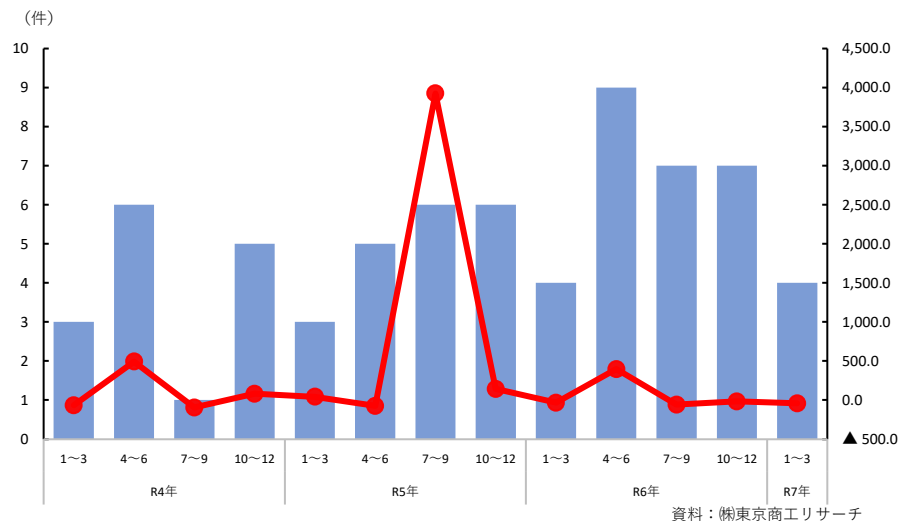
- 前払金保証請負金額でみると、市町村などが前年を上回っているものの、国、北海道などが前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 第4四半期▲26.3 年度累計8.9

企業倒産

倒産件数は前年と同数であり、負債総額は前年を下回る

倒産件数、負債総額（前年同期比）



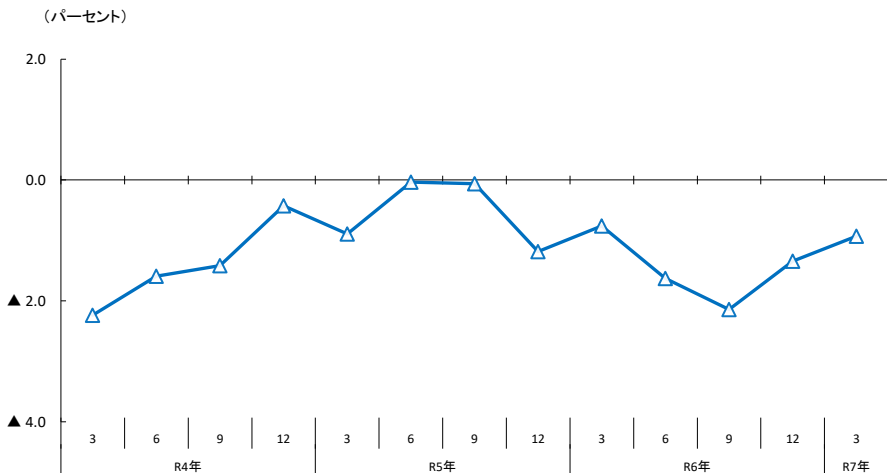
- 倒産件数は4件で前年と同数であり、負債総額は前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】負債総額▲42.3

金融

貸出金残高は前年を下回る

貸出金残高（前年同期比）



- 貸出金残高は前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】貸出金残高▲0.9

特集～釧路・根室管内の企業等における賃上げ動向の声～

宿泊業からの声

- ・人材確保を目的として**昨年度に引き続き賃上げを行う**予定。

小売業からの声

- ・昨年度に引き続き、**今年度も賃上げを行う**予定。しかし、**売上げが増える見込みがなく、これ以上のコスト増は厳しい**ため、昨年度よりは上がらない予定。

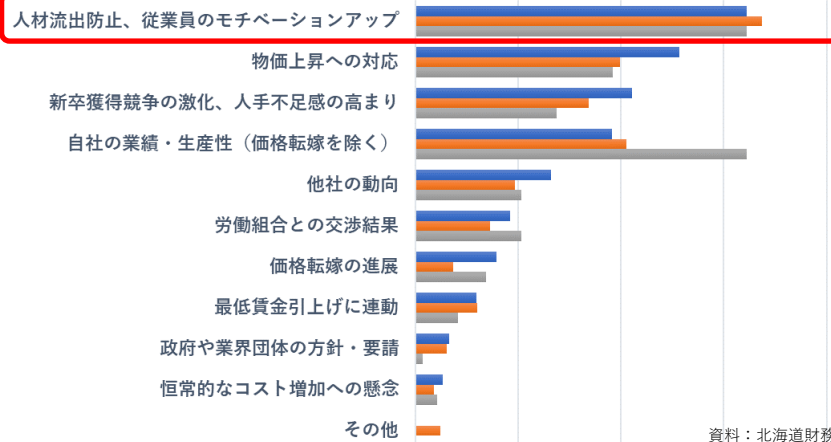
製造業からの声

- ・昨年度は若手職員や交代制の作業員を中心に賃上げを行ったが、物価高等を背景に、**今年度は階層関係なく一律の賃上げを実施予定**。

2025年度の賃金改定率に影響を与えた要素

■ ベア ■ 定期昇給 ■ 賞与・一時金・手当

0% 20% 40% 60% 80%



資料：北海道財務局

建設業からの声

- ・大手企業は4～5%賃上げを行っているため、その数値を目標に**賃上げを行う**予定である。
- ・給与等福利厚生面を手厚くし、魅力ある職場にすることで**職員の離職を防ぎ、新規採用にもつなげていきたい**。

食料品製造業からの声

- ・昨年に**引き続き賃上げを行う**予定。包装資材等の**コスト上昇分の価格転嫁がわずかしかできておらず、収益を圧迫しており、人件費も上がる状況となるのは厳しい**と感じている。

宿泊業からの声

- ・稼働率が低く、売上げが増えないため、**賃上げを実施していない**。

その他関係者からの声

- ・**価格転嫁が進み賃上げが進んでいる企業**もみられるが、**価格転嫁が進まず賃上げができていない企業**もあり、業種や規模を問わず、二極化がみられている。

釧路・根室管内の企業等からは、**昨年度に引き続き今年度も賃上げを行う**との声が多く聞こえた。一方、**価格転嫁が進まず賃上げできない**との声や、賃上げを行うものの**人件費増加が厳しい**との声も聞かれたことから、引き続き注視する必要がある。

